

◆平成28年度第1回いじめ問題対策連絡協議会が開催されました

6月14日（火）、町中央公民館にて、町内の各学校長、町PTA連絡協議会長、児童委員、公民分館長、教育相談員、民生委員、保健師、志布志警察署員を委員とする標記の会が開催されました。

会のはじめには、新たに委員となった方に委嘱状が交付され、今後1年間委員として大崎町の児童生徒のいじめ問題防止に積極的に関わっていただくことになりました。

その後、事務局より平成27年度のいじめ問題対策に向けた取組内容として、相談事業の充実、教員の資質向上に向けた研修会の開催、幼・保・小・中連携の強化について具体的な説明がありました。

各学校からは、いじめの未然防止に係る取り組みの様子や児童生徒間のトラブルの内容、家庭との連携の重要性について意見が出され、活発な意見交換が行われました。

教育委員会ではこれからも、人権教育を基盤とした自尊感情の育成や仲間づくりをとおして、いじめの未然防止、さらに、児童生徒間のトラブルなどの早期発見、早期解決を目指し、学校関係機関および団体との連携を図っていきます。



僕の夢 私の夢

『動物のことを もっと知りたい』

No.19 大丸小学校6年 柳原 秀斗

ぼくは、動物が大好きだ。5年生の時、学校で飼育委員会に入り、うさぎのぽんちゃんのお世話をするようになった。朝登校すると、すぐ飼育小屋にむかい、えさや水をあげたり小屋のそうじをしたりする。「ぽんちゃん、たくさん食べてね。」と声をかけると、あまり人になつかないぽんちゃんが、ぼくのところには近づいて来てくれる。そんなふれ合いをしていると、「ぽんちゃんの命をぼくが守っているんだ。」という気持ちになり、ますます責任をもって取り組むようになった。

そのような体験から、動物のことをもっと知りたいと思うようになり、ぼくの将来の夢は動物園の飼育員に決まった。

ぼくが動物園の飼育員になったら、してみたいことが2つある。1つめは、色々な動物のお世話をしたいということだ。学校や家でふれ合うことができる動物もいるが、動物園でないと世話することができないキリンやサイ、カピバラ、ライオンといった動物のお世話をしてみたい。

2つめは、絶めつきぐ種の動物を守っていききたいということだ。絶めつしてしまった動物は、二度と姿を見ることができない。だから、絶めつきぐ種の動物の保護活動を行って、野生に返す活動をしていきたい。また、世界中の動物が今どうなっているかを来場者に知ってもらい、動物の住みやすい自然を守っていく大切さをたくさんの人に伝えていきたい。

夢をかなえるために、今がんばっていることがある。それは、家で飼っている犬のお世話を一生けん命することだ。まずは身近にいる動物の命を大切にすることで、将来の夢につなげていきたい。